

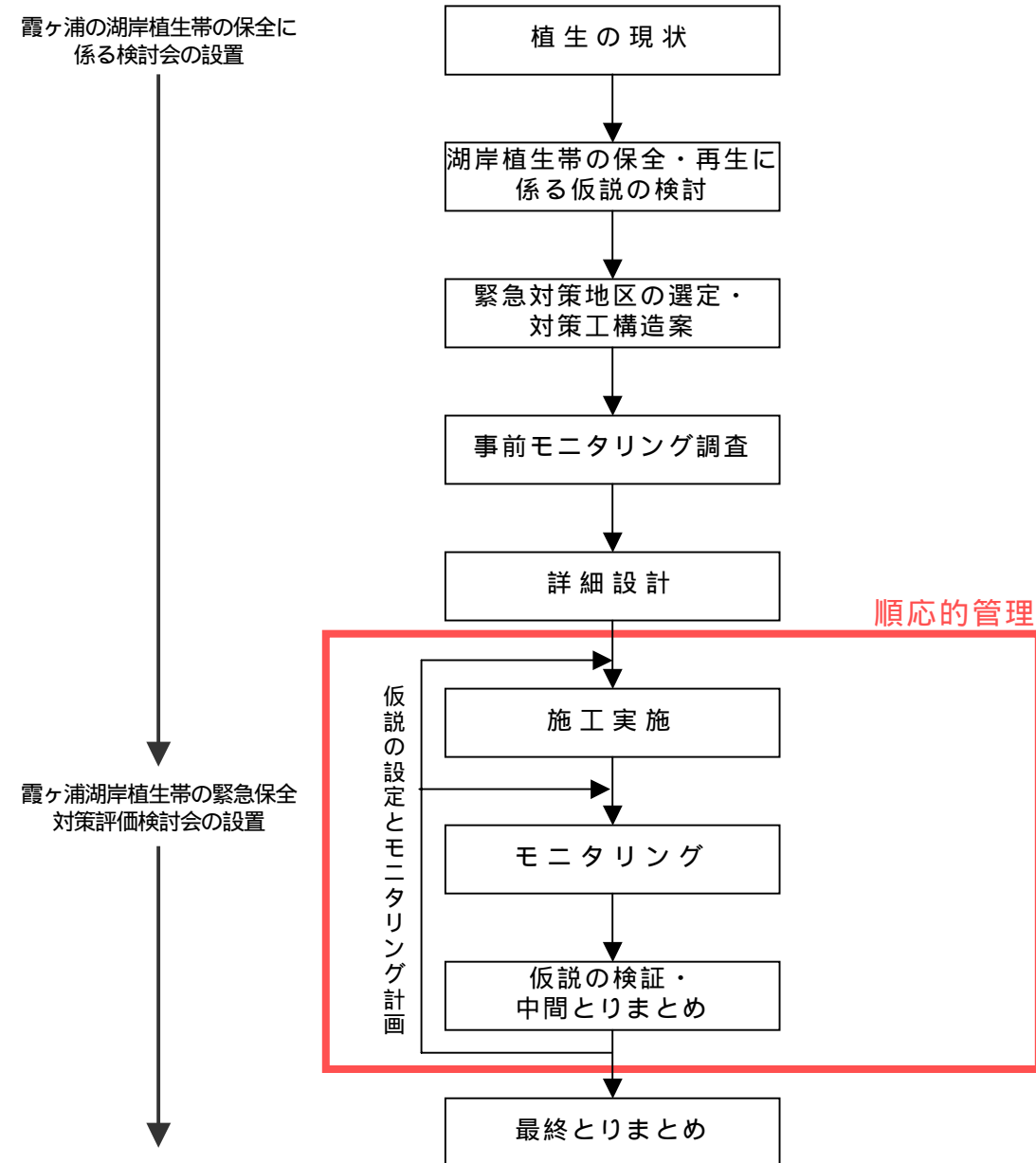
第1章 これまでの湖岸植生帯の緊急保全対策の検討経緯

1.1. 霞ヶ浦の湖岸植生帯の緊急保全対策検討の経緯

霞ヶ浦の湖岸植生帯の減退が進んだため、湖岸植生の保全、再生を目的とした「霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会」(平成12年11月～14年7月)により、湖岸植生帯の減退要因と対策案が検討された。

この検討結果に基づいて施設の設計、施工が行われ平成14年3月に緊急保全対策工(11地区19工区)が整備された。

さらに、平成15年10月に「霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会」を設置し、モニタリング調査の結果をもとに緊急対策工の評価を審議して、現在5年目を迎えている。



委員一覧

「霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会」委員

氏名	所属	専門分野	備考
椎貝 博美	元(社)日本河川協会 会長	河川工学	座長(～H19.01.17)
池田 駿介	東京工業大学大学院理工学研究科 教授	環境水理学・流体力学	座長(H19.01.17～)
佐藤 慎司	東京大学大学院工学系研究科 教授	海岸工学	
角野 康郎	神戸大学理学部生物学科 教授	植物生態学	
佐々木 寧	埼玉大学工学部建設工学科 教授	植物生態学	
花里 孝幸	信州大学山岳科学総合研究所山地水域環境保全学部門長, 教授	陸水生態学・生態毒性学	

オブザーバー(「霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会」委員)

氏名	所属	専門分野	備考
桜井 善雄	信州大学名誉教授 応用生態学研究所 主宰	応用生態学	
鷲谷 いづみ	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	保全生態学	

霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会					
	平成12年度		平成13年度		平成14年度
	第1回 検討会	第2回 検討会	第3回 検討会	第4回 検討会	第5回 検討会
	平成12年11月	平成13年2月	平成13年5月	平成13年12月	平成14年7月
湖岸植生帯の緊急保全対策工の検討	○基本理念 ○植生の現状	○霞ヶ浦の環境の 現状と変遷			
		湖岸植生帯の保 全・再生に係る取 組の検討			
		○緊急対策地区の選定 ○対策工の構造案	○各地区の 対策工構造案	○対策工 詳細設計案	
			○事前モニタリング 調査計画	○事後モニタリン グ 調査計画	
				○湖岸植生帯の 復元方法 ○維持管理手法	
					○湖岸植生帯の 減退要因の検討
詳細設計			詳細設計	施工実施	
モニタリング調査			事前モニタリング調査		事後モニタリング調査



霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会								
	平成15年度		平成16年度		平成17年度	平成18年度		平成19年度
	第1回 評価検討会	第2回 評価検討会	第3回 評価検討会	第4回 評価検討会	第5回 評価検討会	第6回 評価検討会	第7回 評価検討会	第8回 評価検討会
	平成15年10月	平成16年2月	平成16年11月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年1月	平成19年3月	平成19年7月
湖岸植生帯の緊急保全対策工の検討	湖岸植生帯の緊急対策の概要							
		平成15年度モニタリング調査結果						
		平成16年度モニタリング調査計画	平成16年度モニタリング調査結果速報版	平成16年度モニタリング調査結果				
				平成17年度モニタリング調査計画	平成17年度モニタリング調査結果			
					平成18年度モニタリング調査計画	平成18年度モニタリング調査結果(速報)	平成18年度モニタリング調査結果	
							今後のモニタリング調査計画	
					○保全検討会の取組の検証 ○取組のとりまとめ	中間とりまとめ(案)及び今後の方針(案)	第6回評価検討会における意見	中間とりまとめ(案)
						第5回評価検討会における意見		
	粗朶流出対策			平成16年度粗朶状況調査速報版	平成16年度粗朶状況調査速報版			
				粗朶補修改良試案		粗朶補修改良計画		
							粗朶補修改良工事実施	
現地見学会	平成15年度現地見学会実施		平成16年度現地見学会実施		平成17年度現地見学会実施	平成18年度現地見学会実施		